

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成23年8月11日(2011.8.11)

【公開番号】特開2010-7023(P2010-7023A)

【公開日】平成22年1月14日(2010.1.14)

【年通号数】公開・登録公報2010-002

【出願番号】特願2008-170828(P2008-170828)

【国際特許分類】

C 09 J 7/02 (2006.01)

C 09 J 201/00 (2006.01)

B 32 B 27/36 (2006.01)

【F I】

C 09 J 7/02 Z

C 09 J 201/00

B 32 B 27/36

【手続補正書】

【提出日】平成23年6月23日(2011.6.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ウレタンアクリレート単位を有するポリマーを含む、第1及び第2の主表面を備えたコア層であって、前記ポリマーのガラス転移温度( $T_g$ )が0未満である、コア層と；

前記コア層の第1主表面に積層された第1の接着層であって、硬化性である第1の接着層と、

前記コア層の第2主表面に積層された第2の接着層と

を含む、接着シート。

【請求項2】

前記ポリマーの貯蔵弾性率 $E'$ が、0で $5.0 \times 10^5 \sim 3.0 \times 10^8 \text{ Pa}$ 、80で $5.0 \times 10^5 \sim 3.0 \times 10^8 \text{ Pa}$ であって、かつ前記ポリマーの損失正接 $\tan \delta$ が、0で0.15以上、80で0.25以下である、請求項1に記載の接着シート。

【請求項3】

前記ポリマーが、ポリエーテル、ポリエステル、ポリカーボネート及びそれらの組み合わせからなる群から選択されるポリマー骨格を含む、請求項1に記載の接着シート。

【請求項4】

前記ポリマーが、前記ポリマーの質量を基準として20～70質量%の極性基含有単位をさらに含む、請求項1に記載の接着シート。

【請求項5】

前記第1の接着層が熱硬化性接着層である、請求項1～4のいずれか一項に記載の接着シート。

【請求項6】

前記第2の接着層が熱硬化性接着層である、請求項1～5のいずれか一項に記載の接着シート。

【請求項7】

請求項1～6のいずれか一項に記載の接着シートの前記第2の接着層に接着された取り

付け面を含む物品。

**【請求項 8】**

自動車と組み合わされた請求項 7 に記載の物品であって、当該物品が前記接着シートの前記第 1 の接着層によって前記自動車に接着されている、物品。